

市民委員会 資料〔港湾局〕

【平成24年第2回市議会定例会提出予定議案関係】

議案第 98号 川崎港コンテナターミナル・コンテナクレーン

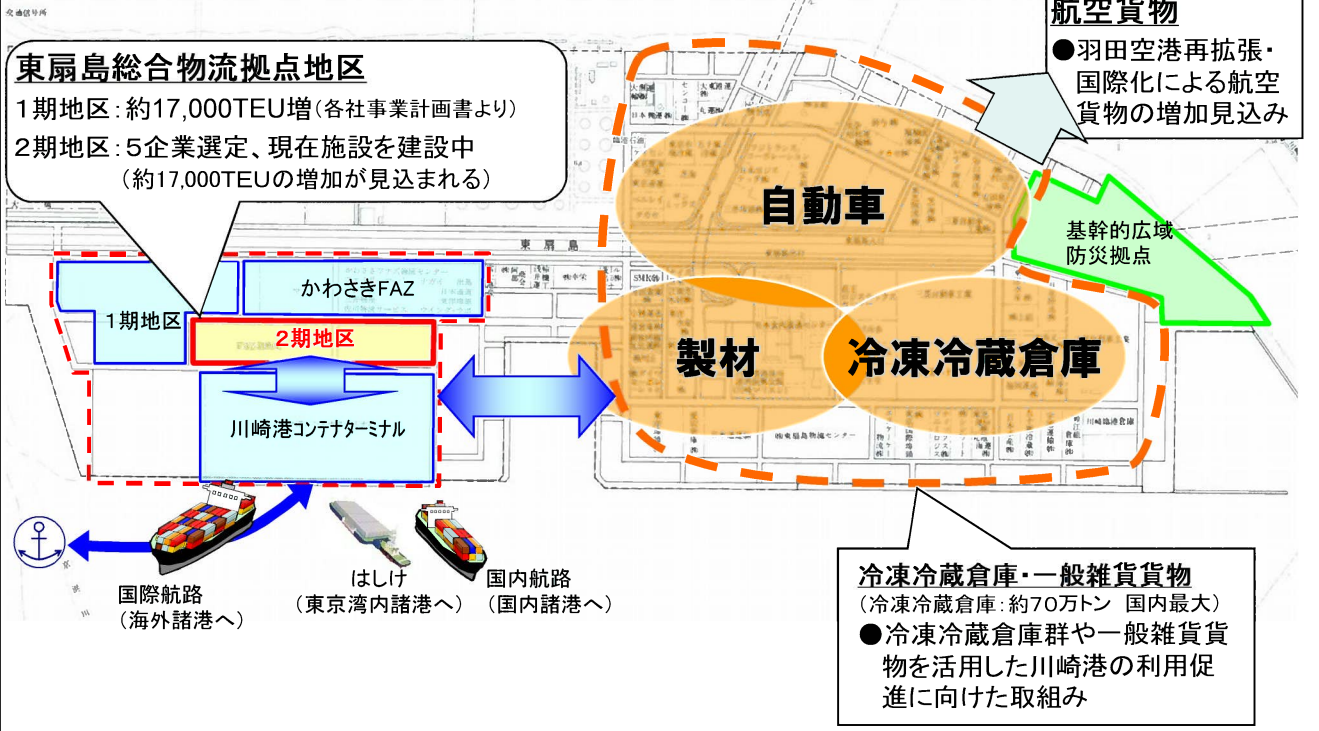
製作工事請負契約の締結について

参考資料 川崎港コンテナターミナル整備事業について

コンテナターミナル整備事業(ガントリークレーン3号機の整備)

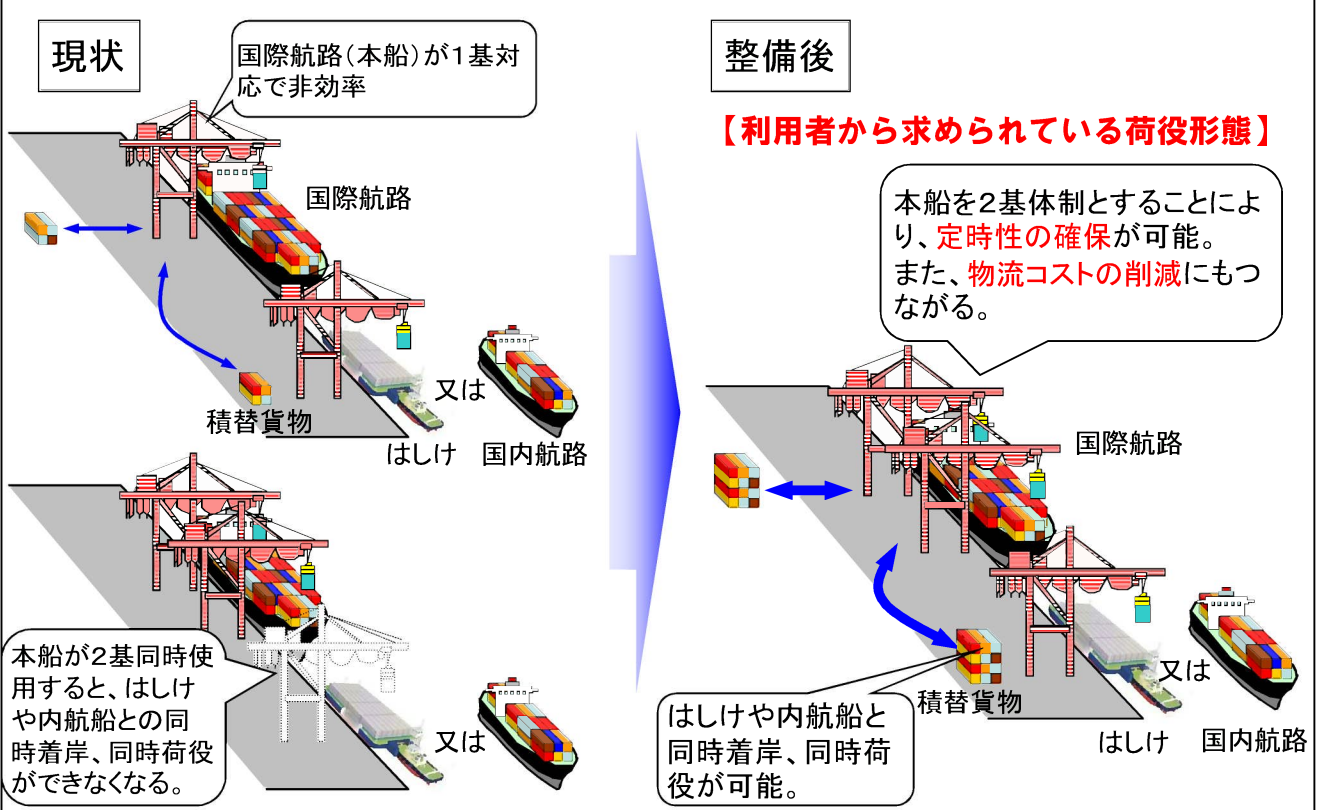
コンテナターミナルを取り巻く状況

- 東扇島総合物流拠点1期地区の本格稼働。2期地区はH22年度に公募を実施し5企業選定。
- 冷凍冷蔵倉庫群等、立地企業の川崎港利用の促進。
- 東日本をターゲットとした貨物集約のための内航フィーダーの充実・強化。外内貿一体運用。
- はしけ輸送の強化による東京湾内諸港間のコンテナ持ち越し輸送の効率化。
- 物流コストの削減、定時性の確保等を求める荷主・船社ニーズへの対応。



整備効果

3基体制にすることにより、寄港ニーズに応えるとともに、リードタイムの短縮・定時性の確保により、ターミナルの信頼性・安定性を確保し、集荷力の向上が図れる。



ポートセールスにおける船社・荷主からの要望等

- 【外航大手船会社・荷主の要望】
- 川崎港は2基のガントリークレーンで荷役効率が悪く、拠点港にできない。
 - 1バース3基体制は、世界的にも常識である。
 - 以前からガントリークレーン3号機を強く要望していた。
 - 3号機を設置する方向性ができれば、川崎港コンテナターミナルに本船を寄港させることを検討したい。
 - 川崎港を利用するためにはガントリークレーン3基体制が望まれる。

ガントリークレーン3号機整備全体計画

整備期間 平成24年度～平成25年度
全体事業費 約10億円(本体製作工・調査委託・付属工事含む)
事業概要 ガントリークレーン3号機の整備

項目	概要	H24	H25	
本体製作	本体製作工事及び設置工事			債務負担(2:8)
調査委託	クレーンに接続する電気設備の調査設計委託			単年度
付属工事	ケーブル、遮断器等の設置工事			単年度

既設ガントリークレーン



コンテナ定期航路の新設

船 社 新海豊集装箱運輸有限公司(SITC)
航 路 連雲港⇒青島港⇒東京港⇒川崎港⇒横浜港⇒名古屋港⇒新港⇒大連港⇒平澤港⇒東京港⇒横浜港⇒連雲港
※3隻体制のループ、青島港⇒川崎港間は4日間 (初入港平成24年5月17日)
船 型 3隻とも約1,000TEU(10,000トン級)積みのコンテナ船
主な貨物 青島市周辺に立地する食品関連工場から日本(首都圏)向けに輸入される冷凍冷蔵食品を輸送するリーファーコンテナ
取扱貨物量 80～100TEU/週×52週＝4,160～5,200TEU/年(想定)
※昨年のコンテナ取扱量約32,000TEU

